

先の大戦において、多くの方々が、祖国の繁栄と最愛の御家族の安泰を願いつつ、尊い一命を捧げられました。ここにかげがえのない命を失われた戦没者の皆様に思いを馳せ、追悼の誠を捧げますとともに、心から御冥福をお祈りいたします。

土佐清水市では、先の大戦において亡くなられた方々を追悼し、新たなる平和への誓いを込めて、毎年11月に戦没者追悼式を挙げておりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症に関する状況に鑑み、慎重に検討した結果、御参列いただく皆様の健康と安全を最優先に考え、中止させていただく運びとなりました。

毎年開催してきた戦没者追悼式を中止しなければならないのは、大変残念なことでありますが、御理解くださいますようお願い申し上げます。

さて、今年で戦後75年の節目を迎えましたが、先の大戦の記憶を風化させることなく、再び戦争の惨禍を繰り返さぬよう、戦争の悲惨さと平和の尊さを、未来を担う次の世代へ着実に語り継いでいく必要があります。

今日、私たちが享受している平和と繁栄は、先人達の大きな犠牲の上に築かれたものであることを決して忘れてはなりません。

命の尊さ、平和の大切さを認識し、希望に満ちあふれた心豊かに暮らせる社会を築き上げていくことが、今を生きる私たちの責務であります。

御遺族の皆様におかれましては、最愛の御家族を亡くされ、今日まで決して癒されることのない深い悲しみに耐えながら、幾多の困難を乗り越えてこられた御苦労に対し、心から深く敬意を表します。

結びになりましたが、戦禍に倒れた戦没者の御霊の平安を心からお祈り申し上げますとともに、1日も早い新型コロナウイルス感染拡大の収束と、御遺族の皆様方の、今後ますますの御健勝、御多幸を祈念いたします。

令和2年10月

土佐清水市長 泥谷 光信